

金融庁におけるサステナブルファイナンスの取組み

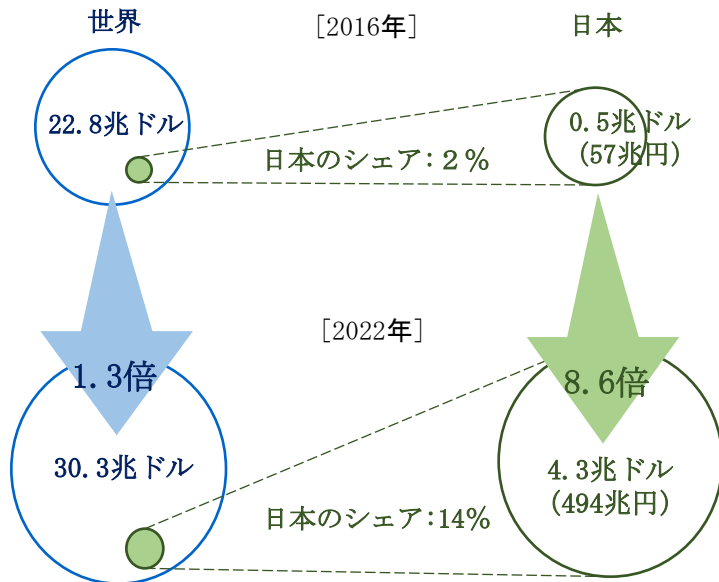
令和7年5月20日

財務省関東財務局新潟財務事務所

サステナブルファイナンスの現状

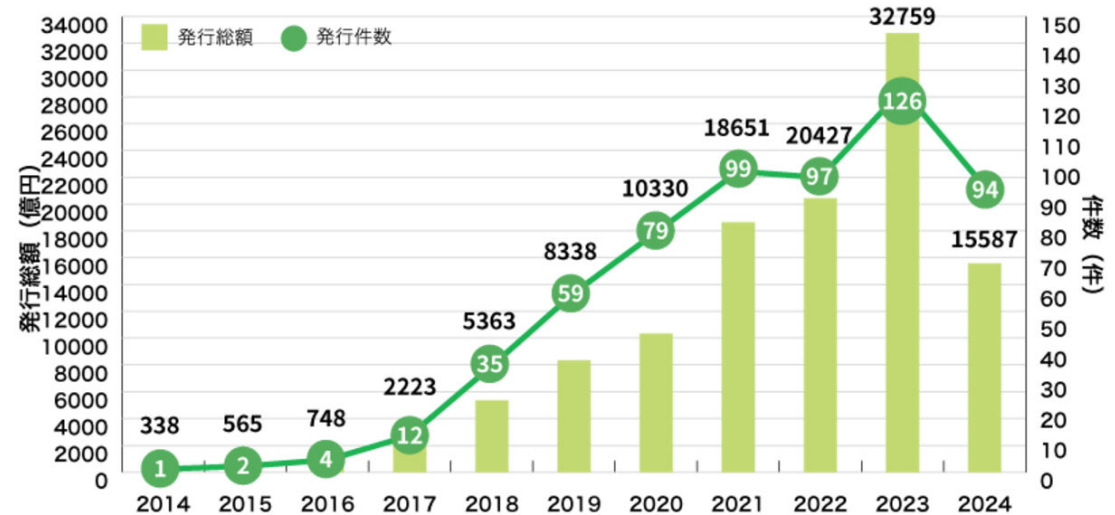
- n 気候変動や少子高齢化、災害への対応など、社会・環境課題への対応が急務となる中で、新たな産業・社会構造への転換を促し、持続可能な社会を実現するための資金やアドバイスを提供する金融（サステナブルファイナンス）の重要性が高まっている。
- n 特に脱炭素については、世界全体で設備投資や技術開発に官民合わせて巨額の資金が必要（※）とされており、企業の取組みを支える民間金融の機能発揮が欠かせない。
(※) 国際エネルギー機関(IEA)は、2050年脱炭素の実現には、世界全体で、現在年間1兆ドルの投資を2030年までに4兆ドルに増やすことが必要と試算している。
- n わが国でも、2050年カーボンニュートラルの実現に向け、経済社会の脱炭素が加速する中で、日本企業の取組みや強みが適切に評価され、内外の投資資金が円滑に供給されるための環境整備が重要。

世界と日本のESG投資資金



(出所) 世界のESG投資額の統計を集計している国際団体であるGSIAの報告書より作成

国内企業等によるグリーンボンドの発行実績



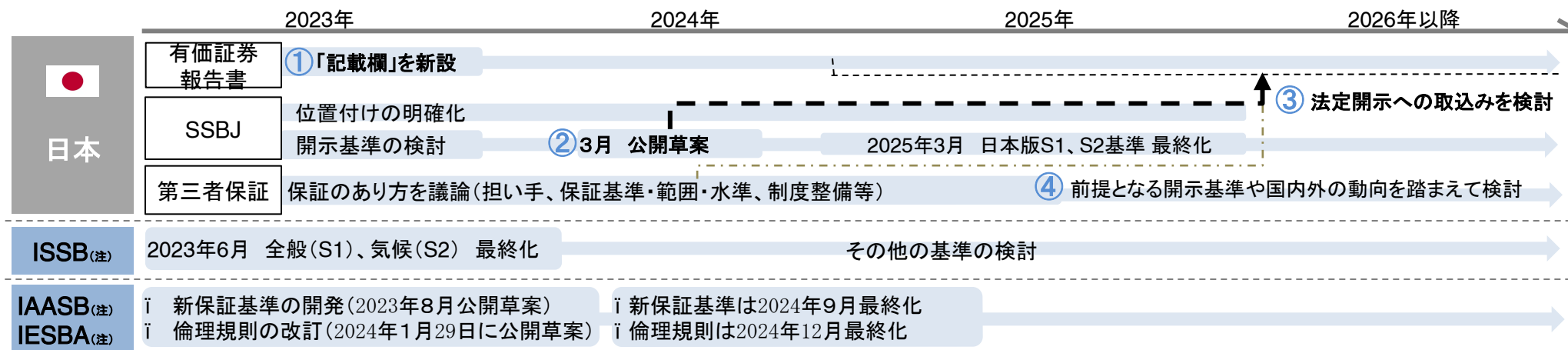
グリーンボンド：太陽光や風力発電など、「グリーン」とされるプロジェクトへの資金を調達するために発行される債券
(出所) グリーンファイナンスポータル（環境省）（2024年11月1日現在）

サステナビリティ情報の開示と保証のあり方（ワーキング・グループ設置の背景）

- p 2023年3月期から有価証券報告書におけるサステナビリティ情報の開示が開始（個別具体的な基準はなし）。今後、この開示が具体的な基準に準拠して行われることで、比較可能性を高め、投資家に有用な情報が提供されることが重要 …①
- p 我が国のサステナビリティ基準委員会（SSBJ）では、2023年6月に最終化した国際基準（ISSB基準）を踏まえ、日本における具体的なサステナビリティ開示基準（SSBJ基準）を開発中であり、昨年3月に公開草案を公表 …②
 - ※ 2025年3月5日に確定基準を公表
- p SSBJ基準の適用対象については、グローバル投資家との建設的な対話を中心に据えた企業（プライム上場企業ないしはその一部）から始めることが考えられる中、公開草案の公表に際し、具体的な適用対象や適用時期を検討することで、公開草案に関する適切な議論が行われるほか、企業等において基準の適用に向けた準備が進むと考えられる …③
 - （注）2022年12月公表の金融審議会ディスクロージャーWG報告では、「…企業によって社会全体へのインパクトが異なることや様々な業態があること、企業負担の観点、欧米では企業規模に応じた段階的な適用が示されていることを踏まえると、我が国では、最終的に全ての有価証券報告書提出企業が必要なサステナビリティ情報を開示することを目標としつつ、今後、円滑な導入の方策を検討していくことが考えられる」と提言
- p また、投資家からはサステナビリティ情報の信頼性の確保を望む声があり、国際的にも、当該情報に対する保証のあり方について議論が進んでいる。我が国において、サステナビリティ開示基準や保証制度を導入するには、法改正を視野に入れた検討が必要であり、議論を始めていくことが重要 …④

⇒ 金融審議会において、サステナビリティ情報の開示と保証のあり方に関するワーキング・グループを新規に設置

※ 金融審議会総会（2024年2月19日）における金融担当大臣の諮問を受け、同年3月26日、第一回サステナビリティ情報の開示と保証のあり方に関するワーキング・グループを開催し検討を開始



- n グローバルな投資家との建設的な対話を中心に据えた企業向けの市場であるプライム市場にサステナビリティ開示基準を導入することで、グローバルで比較可能性を確保しながら、中長期的な企業価値の評価に必要な情報を提供し、投資家との建設的な対話を促進することが重要。企業側の開示の効率性も考慮し、国際的なベースラインとなるISSB基準と同等なサステナビリティ開示基準を取り込む必要。
- n 企業等の準備期間を考慮し、時価総額3兆円以上のプライム市場上場企業から段階的に導入する案を基本線としつつ、国内外の動向、保証に関する検討状況等を注視しながら、柔軟に対応していく。

2025年

2026年3月期

2027年3月期

2028年3月期

2029年3月期

2030年3月期

・

203X年3月期

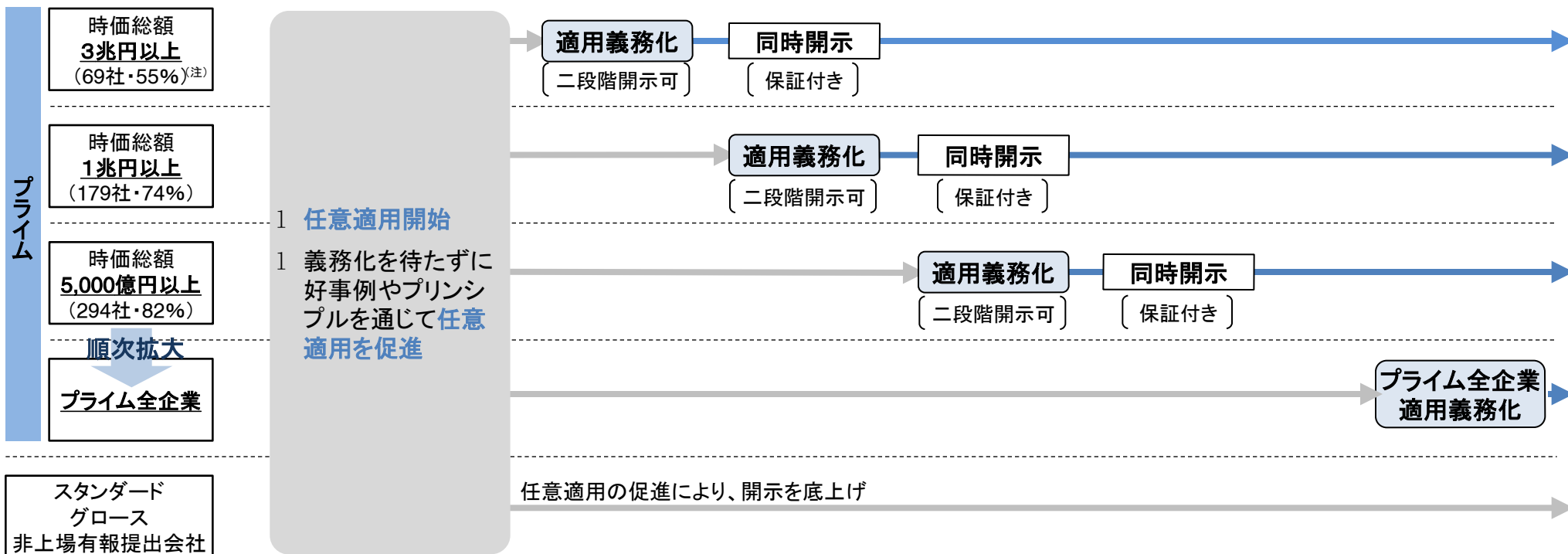
(3月)

SSBJ基準
最終化予定

開示基準導入

保証制度導入

※保証のあり方については、任意の枠組みも含め、今後の検討課題



※ このほか、本邦で有報提出義務を負う企業が海外制度に基づくサステナビリティ開示を行った場合には、臨時報告書によって報告
また、虚偽記載等の責任を問われることを懸念して企業のサステナビリティ情報の開示姿勢が萎縮することを防ぐためにも、セーフハーバーの在り方についても検討

n 地域金融機関において、気候変動対応に係る様々な取組みが見られている。

● 七十七銀行：地域別のファイナンス・エミッションの開示

- 七十七銀行は、投融資先全体におけるファイナンス・エミッションについて、「電力」「金属・鉱業」等の15種の業種別に算定・開示。
- 併せて、宮城県内事業者への投融資に係るファイナンス・エミッションを抽出し、業種別に算定・開示。

●お取引先における業種別・地域別のCO ₂ 排出量			宮城県内事業者さまへの投融資にかかるFE		
当行投融資先全体におけるFE（注1）			宮城県内事業者さまへの投融資にかかるFE		
No	業種分類	当行に帰属するCO ₂ 排出量（注2） （単位：t-CO ₂ ）	No	業種分類	当行に帰属するCO ₂ 排出量（注2） （単位：t-CO ₂ ）
1	電力	2,131,840	1	電力	908,777
2	金属・鉱業	921,391	2	飲料・食品	445,853
3	飲料・食品	790,957	3	陸運	152,880
4	化学	681,057	4	建築資材・資本財	145,023
5	建築資材・資本財	667,057	5	金属・鉱業	135,861
6	陸運	384,685	6	化学	131,520
7	製紙・林業	228,000	7	自動車	73,170
8	自動車	177,089	8	不動産管理・開発	65,534
9	不動産管理・開発	144,234	9	製紙・林業	33,019
10	石油・ガス	101,396	10	石油・ガス	19,857
11	海運	13,762	11	農業	8,816
12	農業	11,926	12	海運	4,674
13	空運	1,480	13	空運	—
14	石炭	—	14	石炭	—
15	その他	3,756,722	15	その他	2,371,756
— 合計		10,011,596	— 合計		4,496,741

注1 ファイナンス・エミッションの範囲であり、お取引先のCO₂排出量のうち当行に帰属する排出量を指します。
注2 計算対象は当行投融資先のうち、「国内公共施設」、「外国証券投資」、「自治体向け融資」、「県民向け融資」、「個人向け融資」を除いた金額です。

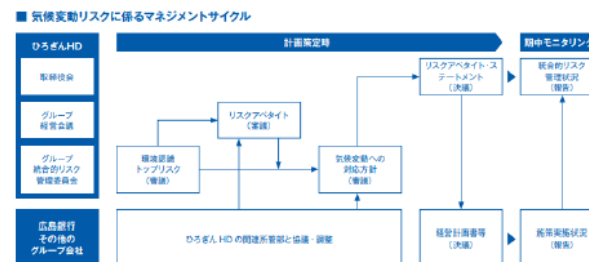
（七十七銀行 2023年3月期統合報告書）

● 広島銀行：リスクマネジメントサイクルの開示

- 広島銀行は、気候変動リスク・機会認識を踏まえた気候変動対応の高度化の取り組みについて、主な取り組み実績に加え、今後の取り組みの方向性を目的・狙い別に開示。

項目・点	2023年度に実施した取組	2024年度に実施する取組（予定）
① 気候変動リスク・機会認識の徹底	● 気候変動リスク・機会認識の徹底 ・ 気候変動リスク・機会認識の徹底 ・ 気候変動リスク・機会認識の徹底	● 気候変動リスク・機会認識の徹底 ・ 気候変動リスク・機会認識の徹底 ・ 気候変動リスク・機会認識の徹底
② 気候変動リスク・機会認識の徹底	● 気候変動リスク・機会認識の徹底 ・ 気候変動リスク・機会認識の徹底 ・ 気候変動リスク・機会認識の徹底	● 気候変動リスク・機会認識の徹底 ・ 気候変動リスク・機会認識の徹底 ・ 気候変動リスク・機会認識の徹底
③ 気候変動リスク・機会認識の徹底	● 気候変動リスク・機会認識の徹底 ・ 気候変動リスク・機会認識の徹底 ・ 気候変動リスク・機会認識の徹底	● 気候変動リスク・機会認識の徹底 ・ 気候変動リスク・機会認識の徹底 ・ 気候変動リスク・機会認識の徹底
④ 気候変動リスク・機会認識の徹底	● 気候変動リスク・機会認識の徹底 ・ 気候変動リスク・機会認識の徹底 ・ 気候変動リスク・機会認識の徹底	● 気候変動リスク・機会認識の徹底 ・ 気候変動リスク・機会認識の徹底 ・ 気候変動リスク・機会認識の徹底
⑤ 気候変動リスク・機会認識の徹底	● 気候変動リスク・機会認識の徹底 ・ 気候変動リスク・機会認識の徹底 ・ 気候変動リスク・機会認識の徹底	● 気候変動リスク・機会認識の徹底 ・ 気候変動リスク・機会認識の徹底 ・ 気候変動リスク・機会認識の徹底
⑥ 気候変動リスク・機会認識の徹底	● 気候変動リスク・機会認識の徹底 ・ 気候変動リスク・機会認識の徹底 ・ 気候変動リスク・機会認識の徹底	● 気候変動リスク・機会認識の徹底 ・ 気候変動リスク・機会認識の徹底 ・ 気候変動リスク・機会認識の徹底
⑦ 気候変動リスク・機会認識の徹底	● 気候変動リスク・機会認識の徹底 ・ 気候変動リスク・機会認識の徹底 ・ 気候変動リスク・機会認識の徹底	● 気候変動リスク・機会認識の徹底 ・ 気候変動リスク・機会認識の徹底 ・ 気候変動リスク・機会認識の徹底
⑧ 気候変動リスク・機会認識の徹底	● 気候変動リスク・機会認識の徹底 ・ 気候変動リスク・機会認識の徹底 ・ 気候変動リスク・機会認識の徹底	● 気候変動リスク・機会認識の徹底 ・ 気候変動リスク・機会認識の徹底 ・ 気候変動リスク・機会認識の徹底
⑨ 気候変動リスク・機会認識の徹底	● 気候変動リスク・機会認識の徹底 ・ 気候変動リスク・機会認識の徹底 ・ 気候変動リスク・機会認識の徹底	● 気候変動リスク・機会認識の徹底 ・ 気候変動リスク・機会認識の徹底 ・ 気候変動リスク・機会認識の徹底
⑩ 気候変動リスク・機会認識の徹底	● 気候変動リスク・機会認識の徹底 ・ 気候変動リスク・機会認識の徹底 ・ 気候変動リスク・機会認識の徹底	● 気候変動リスク・機会認識の徹底 ・ 気候変動リスク・機会認識の徹底 ・ 気候変動リスク・機会認識の徹底
⑪ 気候変動リスク・機会認識の徹底	● 気候変動リスク・機会認識の徹底 ・ 気候変動リスク・機会認識の徹底 ・ 気候変動リスク・機会認識の徹底	● 気候変動リスク・機会認識の徹底 ・ 気候変動リスク・機会認識の徹底 ・ 気候変動リスク・機会認識の徹底
⑫ 気候変動リスク・機会認識の徹底	● 気候変動リスク・機会認識の徹底 ・ 気候変動リスク・機会認識の徹底 ・ 気候変動リスク・機会認識の徹底	● 気候変動リスク・機会認識の徹底 ・ 気候変動リスク・機会認識の徹底 ・ 気候変動リスク・機会認識の徹底
⑬ 気候変動リスク・機会認識の徹底	● 気候変動リスク・機会認識の徹底 ・ 気候変動リスク・機会認識の徹底 ・ 気候変動リスク・機会認識の徹底	● 気候変動リスク・機会認識の徹底 ・ 気候変動リスク・機会認識の徹底 ・ 気候変動リスク・機会認識の徹底
⑭ 気候変動リスク・機会認識の徹底	● 気候変動リスク・機会認識の徹底 ・ 気候変動リスク・機会認識の徹底 ・ 気候変動リスク・機会認識の徹底	● 気候変動リスク・機会認識の徹底 ・ 気候変動リスク・機会認識の徹底 ・ 気候変動リスク・機会認識の徹底
⑮ 気候変動リスク・機会認識の徹底	● 気候変動リスク・機会認識の徹底 ・ 気候変動リスク・機会認識の徹底 ・ 気候変動リスク・機会認識の徹底	● 気候変動リスク・機会認識の徹底 ・ 気候変動リスク・機会認識の徹底 ・ 気候変動リスク・機会認識の徹底

- また、同行は、リスクアパタイト・フレームワークに基づく統合的リスク管理の枠組みの中で気候変動リスクを管理するほか、リスクアパタイト・ステートメントに「気候変動への対応方針」を追加。そのリスクマネジメントサイクルについて、図示したうえで詳細に開示。



（ひろぎんホールディングス 2023年3月期統合報告書）

1 広島銀行：カーボンニュートラル対応コンサルティングメニューの充実

- ー 同じく、広島銀行は取引先企業のカーボンニュートラルに向けた対応支援のメニューを拡充。
- ー 対話ツールによる機運の醸成からサステナビリティに関する経営方針策定の支援、サステナブルローンによる融資など、

企業の取組段階に応じた支援を実施。



- n 2024年8月、新たに「気候関連リスクモニタリング室」を設置。
- 業界横断的な実態把握のため、金融システムや銀行・保険等の各業態のモニタリングを担当する課室が連携。
 - 国際的な動向やトランジション・ファイナンスの重要性の高まり等も踏まえつつ、「金融機関における気候変動への対応についての基本的な考え方」（2022年7月公表）等に基づき、金融機関における気候関連金融リスク管理、顧客の気候関連のリスクへの対応を支援する取組等を体系的に確認する。

